

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2012 6 25
No. 1051

発行責任者 柳 進 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

さようなら原発 10万人集会

とき 7月16日(月)11:00~
ところ 東京・代々木公園B地区

仕事量に見合う人員増を 組合員の声あつめ春闘要求

幸田町



福祉課の窓口で対応する白井さん

5月末に春季要求書を提出した幸田町職労。昨年末に行った職場アンケートに寄せられた組合員の要求と、新年度の4月に行われた職場集会での意見をとりまとめ、春闘要求書へ反映しています。職場で働く組合員と、そしてその声を要求として交渉に奮闘する執行部を取材しました。

「人員が増えない中で仕事量だけが増えている」と語るのは、福祉課で働く白井堅太さんです。もともと福祉課の福祉サービス業務は事務量が多く、手一杯。そこへ障害者医療の受給者証発行事務など、県から事務移譲が行われたため、職員に負担が大きくなるようになりまし。仕事が増えれば、昼の休憩時間は30分ほど。毎日の残業時間も

1時間は増えた。現状の職場の人員では回りきらない状況が生まれつつある」と厳しい職場状況を語ります。そして、職場の声として「人員と仕事量が福祉課では一番の問題となっている。パートの方に午前中手伝わってもらっているが、やはり正規職員の人員を増やして欲しい」。組合員に伝え、当局との交渉にあげてもらっている春闘要求書に反映された職場の声を語ってくれました。

身近な声を 要求に反映

数田・幸田町職労委員長は、組合員の声が反映された春闘要求書の内容について語り、職場集会から要求書に反映された内容と

して「食堂への電子レンジ導入」「トイレ便座用の消毒液の設置」など身近な意見を春闘要求書に反映させたといいます。また、年休が残業続きでまるで取れない職場があるとかかり、当局にはとにかく人を配置してもらおうように要求している。仕事を調整して特定の職場に負担がかかりすぎないようにするにはいけない」と、春闘要求書の実現に向け、当局と交渉する組合の姿勢を語ります。また昨年の交渉で当局と交わした「減給保障の段階的廃止にもなう代償の検討」についても当局から明確な回答を得たいと語り、6月末以降に行われる当局との交渉に意欲を見せてくれました。

原発は絶対に嫌だ!



「再稼働反対」を訴えデモ行進

再稼働に県民の同意なし

ふくいできつながらろう集会

全国で広がる再稼働ノの声を無視し、野田内閣が大飯原発3、4号機の再稼働を決めた翌日の6月17日、福井県庁前の中央公園で、「いのちが大事 今なぜ再稼働? ふくいできつながらろう」集会が行われました。集会は原発問題住民運動福井県連絡会などで行われる実行委員会の主催で行われ、愛知を含め全国から200人が集まりました。環境問題にとりくむ石地優実行委員長が、「知事が

再稼働に同意したが、それは県民の同意ではない」と安全が確保されず県民への説明がないままに原発再稼働を決めた知事の姿勢を批判。福井県議会の中島哲演代表委員は、「福島原発事故が人々の心身や生活を破壊した。その過酷な犠牲やストレスに私たちは寄り添うべきだ。政治的な思惑で原発が再稼働されるなど断じて許されないと訴えらる」と、会場からは「そうだ!」と大きな拍手が起りました。

再稼働反対を訴える1分間アピールには、子どもを連れた母親や学生、弁護士など80人以上が参加しました。また最賃引き上げ署名を呼びかけると、「若い人は生活が大変だからね。がんばってね」と高齢の婦人から声もかかり、高校生から高齢者まで120筆を超える署名が集められました。

最賃を時給1000円以上にしよう 750分ハンガーストライキ



最賃上げろと座りこみ行動

「最低賃金を引き上げよう!」地域の賃金格差をなくそう!と訴える750分ハンガーストライキが6月15日、栄広場で行われました。ハンストには自治労連、全国一般などから53人が参加。愛知県の最低賃金にちなみ、朝7時から夜の7時30分まで750分間のハンストにとりくみました。

決起集会では、愛労連の

樽松議長が、「日本の若者の二人に一人が、非正規雇用となり時間給で働いている。これでは将来に展望を持ってない。何とか最低賃金を1000円にするたたかいをがんばっていきたい」と訴えました。

参加者からは、今年2月に行われた最賃生活体験をもとに、「常にお金を心配し心にゆとりも持てない。こんな趣味も楽しめない生活を若者にさせてはいけません!」など最賃問題に対する発言が相次ぎました。

また最賃引き上げ署名を呼びかけると、「若い人は生活が大変だからね。がんばってね」と高齢の婦人から声もかかり、高校生から高齢者まで120筆を超える署名が集められました。

ニユア笑ア.7

芝田☆友徳



セット共済 安くて安心

自治労連 掛金 1790円/月

病気入院 5000円/1日



「支え合うことが大事」と浅尾医師

6月16日、愛知健康センターと愛労連の共催で、次代を担う労働安全衛生「学習会」が行われ、30人以上が参加しました。

第1講座では、佐々木昭三・愛知健康センター副理事長が「労働安全衛生法ができた背景」と題して講演。「担当者に責任転嫁されていた悪質な法違反も、労働安全衛生法により、事業主の責任としてとらえられるようになった」と労働組合運動の成果を語りました。第2講座では、北メンタルクリニックの浅尾拓朗医師が「若者のメンタルヘルス」と題して講演。「人

の心が安らぐには、他者とながら支え合うことが大事。これは組合活動でも同じではないでしょうか」と訴えました。

今回は、6月30日に労働会館で、人間らしい労働「職場の労働安全衛生法」の2講座が行われます。

当選者

クイズの

1047号のクイズの答えは「ハルキヤベツ」でした。

味岡 孝尚 豊橋市職労
安藤 亜樹 西尾市職
井内 理恵 春日井市職
近藤 桂子 蒲郡市職
杉浦 智大 半田市職
鈴木のり子 学事 労
中井 豊次 名古屋市職
藤田 佳代 瀬戸市職
真野 友貴 岩倉市職
山本 英治 豊橋市職



決意表明を行う原告・闘争団

違法な権利侵害は許さない!

この訴訟を勝利させよう
と6月20日、労働会館で、愛知国公6・20 激励決起集会が行われました。「公務員賃下げ」違反の公闘争団が、原告として、東京地裁に提起した。この訴訟は、労働基本権剥奪の代償措置である人事院勧告を無視し、民自公の議員提案で平均7・8%の賃金削減を強行した、明らかな憲法違反に対しておこされたものです。またこの賃下げは国公労働者に留まらず、すべての労働者に低賃金を押しつけようとするものです。

また川村・国公労連副委員長が情勢報告を行い、労働者の権利が踏みにじられることは許されない。違法な公務員賃下げが提案されれば、明確に反対の意思を示す必要がある」と国公労連のスタンスを強調。国民の権利、労働者の権利を前進させようと訴えました。

集会は、全ての裁判闘争勝利とともに、夏季闘争の前進に向けた意思統一を行い、閉会しました。

労働者が安心して働くことができる社会をつくろう

愛知国公6 20 激励決起集会

「社保庁不当解雇」「全医労不利益・雇止め」に対して、撤回や是正を求める裁判を起こした原告団も激励しようと、約70人が参加しました。

集会では、空・愛知国公議長が、東京地裁に提起した公務員賃下げ違憲訴訟にふれて、「私たちがこの賃下げ法案に対して何もしなければ、認められたことになってしまう。官民を問わず、労働者が安心して働くことができる社会をつくらなければならぬ」とし、「裁判を契機に世論に訴え、私たちのたたかいを強めよう」と呼びかけました。

また川村・国公労連副委員長が情勢報告を行い、労働者の権利が踏みにじられることは許されない。違法な公務員賃下げが提案されれば、明確に反対の意思を示す必要がある」と国公労連のスタンスを強調。国民の権利、労働者の権利を前進させようと訴えました。

初日の全体会では、ジャーナリストの猪熊弘子さんが「ひとりひとりの子どもを大切に育てる保育・子育て」と題して講演。猪熊さんは民自公の修正協議によることも園の見直しについて、「保護者が園と結ぶ『直接契約』や市町村が保護者の保育の必要性を『認定』することなどは相変わらず残っている。子ども・子育て支援法など関連三法案すべてが撤回されるわけではない」と、新システム法案を廃案にさせることが大切、と強調しました。

ともに学んでともに元気に

東海北信ブロック保育交流集会 in 田



2日目は3つの分科会に分かれて交流。参加者からは、「それぞれの県や地域の保育の現状が聞けて勉強になった」「同じ思いでがんばっている職員がいることに励まされた」などの感想が寄せられました。

6月16日、17日、自治労連東海北信ブロックは保育交流集会を長野県上田市で開催しました。「保育新システムを許さず、公立保育園と公的保育制度を守るためにともに学んで交流し、元気になる」と、愛知をはじめ、静岡・福井・長野から約70人の保育士が参加しました。

み野の報告が行われ、愛知の長久手からは「こんにちほはいくえんです」のピアノを2万枚新聞折り込みで配布したことや、昼休みに交替で門前に立ち、保護者に協力を訴えることで保育署名が広がりを見せていると報告されました。

いのちと健康をまもろう

「次代を担う労働安全衛生」学習会

6月16日、愛知健康センターと愛労連の共催で、次代を担う労働安全衛生「学習会」が行われ、30人以上が参加しました。

第1講座では、佐々木昭三・愛知健康センター副理事長が「労働安全衛生法ができた背景」と題して講演。「担当者に責任転嫁されていた悪質な法違反も、労働安全衛生法により、事業主の責任としてとらえられるようになった」と労働組合運動の成果を語りました。第2講座では、北メンタルクリニックの浅尾拓朗医師が「若者のメンタルヘルス」と題して講演。「人

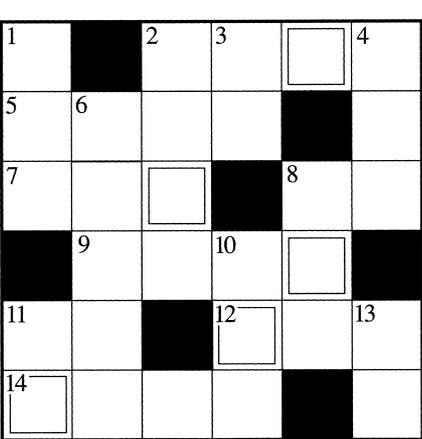
おたのしみプレゼントつきクイズ

左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場を八ガキに書いて送ってください。抽選で10名に図書カード1冊を贈ります。

7月31日必着。八ガキに必ず近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。

名古屋市北区柳原3丁目7-8 自治労連愛知県本部教宣部 締め切りは

〒462-0845
1ド(1000円分)を贈ります。



クロスワードパズル

カギを解き二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何でしょう。

【タテのカギ】①東北地方発祥・特産の木製人形 ②暗号を ③音読みと 読みを ④ 誰の子、スギナの子 ⑤ 6分点をつけた演技 ⑥ はにかみ屋。 ⑦ 投げ首 ⑧ ひょうたんを折る ⑨ 話の ⑩ 1が出る日は6分の1 ⑪ 締め切り当日の有効 ⑫ 奮迅は誰ですか ⑬ 老いらくの ⑭ 一勝一敗でお ⑮ 大入り

【ヨコのカギ】① 1が出る日は6分の1 ② 締め切り当日の有効 ③ 奮迅は誰ですか ④ 老いらくの ⑤ 一勝一敗でお ⑥ 大入り